

ティスカバリーしんぶん ISCOVERY 新聞

臨時長

2020.5 発行

双眼鏡で星空を見よう!

双眼鏡を使うと大きなレンズで光をたくさん集めてくれる から星や天体、天の川がもっと良く見えるようになるよ!

双眼鏡の使い方

- 1 ストラップを首からかける
- 2 首の幅に合わせよう!

ひとりひとりめの幅は違います。

双眼鏡の種類によっては、眼の 幅を調整することができます。



ここを動かして単の幅に合わせ ます。(動かせないものもあり)







りょう め で そうがんきょう のそ 両 月で双眼 鏡 を覗いたとき、 まるがこつ見えた場合は、丸が一つ になるよう調整しましょう。

意味:7倍、対物レンズ 50 mm

- 3 ピントを合わせる
 - ※説明書を見ましょう
- く一般的な方法>
- ①左見だけで覗いて ピントリングを調整
- ②右首だけで覗いて着首 の調整ネジを動かす。
- ③両首で覗いて確認
- 4 しっかり持つ!



右曽の調 整ネジ 接腿部

自当て アイポ゜イント



双眼鏡 に 三脚取付用 の穴があり、言脚とア ダプターがあれば、 きんきゃくとせっそく



きんきゃく 三脚に付ける と安定します。 また、交代で覗 くことができ、



手すりを利用する 壁や柱に体をつける 腕を締める



表ががきょう たいぶつ 双眼鏡の対物レンズが 5 cmなら、人間の目(瞳孔7mm として)のおよそ 50倍も光をたくさん集め、星の光は50倍明るく見えることになります。

えきがんきょう つか こうきの ぜんたい かみ えます。 (満月) 月の模様がよくわかります。





【半月】影がある欠けぎわ付近ならクレー ターの凹凸もわかるでしょう。

【細い月】

たいようこう ちょくせつ あ 太陽光が 直接当たっ ていない「地球院」 がよくわかります。 うっすら模様が覚え ることもあります。





【美の川】

ぼんやり曇のように覚え る天の川の正体は星の集 まりです。双眼鏡では広い っぱいの天の川を見るの にピッタリです。

- プレセペ型団(かに座)
- 天の川とその中の星雲星団
- アンドロメダ観河
- h· χ 二重星団(ペルセウス座)

すばる(おうし座)

ヒヤデス望団(おうし座) オリオン大星雲